

大内隆雄 おほうちの内隆雄 評論家、小説家。明治四十年四月八日福岡縣山門郡柳河生乳、昭和五十五年二月十日歿（一九七—八〇）。本名山口慎一。筆名大藤魏、徐晃陽、矢間恒耀。大正十年渡滿、長春商業學校を經て、昭和四年東京同文書院卒。滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）入社、七年雜誌『滿洲評論』編輯長、翌年退社して歸國也、九年再渡滿。新京實業新聞社等へ勤務のりち、新京日日新聞社論說部長、滿洲映畫協會庶民映畫部文藝課長、滿洲文藝家協會委員、滿洲雜誌社編輯長等を歴任。二十一年歸國、翌年宮崎縣延岡市役所勤務、二十二年延岡市立圖書館司書。定年退職後は高校、短大講師を務めた。

譯著書に、古丁作『平沙』（昭和十五年八月一日中央公論社）、『滿洲短篇小説集』（合著・田邊澄夫編、昭和十七年二月二十五日新京・滿洲有斐閣）等。

